

# 意見を表明しやすい環境づくりについて

---

令和8年1月29日  
こども家庭庁長官官房  
参事官（総合政策担当）付こども意見係

# 一本日の内容

テーマ	内容
【1】自治体における意見聴取について	(1)自治体の取組状況 (2)自治体取組促進の目指すべき状態について(案) (3)主な論点 (4)令和8年度の取組(案)
【2】意見を表明しやすい環境づくりについて	(1)令和7年度に実施した取組 (2)主な論点

## 【2】意見を表明しやすい環境づくりについて

# これまでの経緯

前回いただいたご意見

- 教育委員会の方々も意外と自治体レベルもこういう意見反映の話が十分には伝わっていないなどというケースもまだまだ目にしますし、学校現場の先生方なども、例えば生徒指導摘要とかにも子どもの権利の話が一応盛り込まれたのですけれども、やはりまだまだ知られていなかったり、あるいは知っていても、子どもの権利はともすればわがまま論みたいなことに捉えられてしまったりするケースもまだある
- どうしても自治体で例えば意見を聞くときに、…学校の例えば生徒会の役員の子たちを集めてとか、学校頼みで子どもたちを集めていくというケースが結構多いなと思っていて、もちろんそれは一つの回路として大事だとは思うのですけれども、そうやってしまうと結局学校の中で比較的うまくやれているような子たちの声が聴かれやすいなどという印象を持っています。
- 他方で、…不登校の児童生徒の数も増え続けているような中で、…ともすれば学校中心で声を吸い上げることで、こぼれ落ちてしまいやすい声がないか、というところも考えていく必要がある
- こどもたち自身が興味を持つということが逆にこどもたち自身が監視役になっている側面もある
- 市長への手紙については、富谷市でも行っており、フィードバックは確実にできている。…こどもたちが意識を持って手紙を書くかというところが課題

# 国がこども・若者の意見を聴くための取組

## ①「こども若者★いけんぱらす」をこれからも進めていく。

- ぱらすメンバーの数を1万人にする。(令和7年2月28日時点で4,524人)
- これまで伝えてもらった意見について、個人情報の保護を行った上で一覧にするとともに、集約・分析する仕組みをつくる。

## ②各府省庁の審議会等へのこども・若者の登用を進めていくため、任用の状況、課題や懸念を調べるとともに、各地の審議会等に属するこども・若者委員が情報共有できるような場を創るなど、更なる方法などを考える。

## ③様々な状況にあって声を聴かれにくいこども・若者などがいることを踏まえ、年齢や発達の程度に応じて、いろいろな意見を聞くことができるよう工夫する。

- 年齢などを踏まえて、いろいろな手法で意見聴取を行えるように、その手法や注意すべき点を考える。

## ④すべてのこども・若者が自由に意見を表明しやすい環境づくりに向けて、取り組む。

- こども・若者と対等な目線でその意見を真摯に聴いて尊重するおとの姿勢が重要であることから、こども・若者の意見を表明することの大切さについて、こども・若者だけでなく、おとなに対しても知ってもらうことで、こども・若者の意見を聴くことの大切さについての理解をひろげる。
- こども・若者が、家庭や学校、地域などにおいて、意見をもち、日常的に意見を言い合える機会などを持つことができるよう、こどもや若者が自由に意見を表明しやすい環境を整えるとともに、その雰囲気づくりに取り組む。

## ⑤こどもや若者から意見を聴いたり、こどもや若者が参加したりする方法について、どうやって評価するかを考える。

# （1）令和7年度に実施した取組

こども・若者が自由に意見を表明しやすい環境づくりのための機運醸成の取組を実施

## 取組事例1

- 北陸学院の中学生を対象として、「いんひろば」を実施し、こども・若者の意見表明の周知・機会提供



## 取組事例2

- キッザニア東京にて、期間限定で「こども意見オフィス」パビリオンを開設



## 一 (2) 主な論点

- こども・若者の意見を聞くことの大切さについての理解を広めるために、国はどのような取組ができるか。
- こども・若者が、自由に意見を表明しやすい環境及び雰囲気づくりのために、国はどのような取組ができるか。